

様式第3号(第9条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	みよし市がんばる地域応援補助事業審査会		
開催日時	平成30年11月28日(水) 午前10時から正午まで		
開催場所	みよし市役所 3階 301会議室		
出席者	<p>委員 加藤 武志 (中京大学現代社会学部講師 まち楽房有限会社) 三島知斗世 (NPO法人ボランティアネイバーズ) 佐宗 正行 (みよし市ボランティア連絡協議会) 山田 勉 (政策推進部長) 村田 信光 (市民協働部長)</p> <p>事務局 岡本市民協働部次長、深谷協働推進課長、 水野協働推進課副主幹、藤田協働推進課主任主査、 長尾協働推進課主事</p> <p style="text-align: right;">(計10名)</p> <p>傍聴者 0名</p>		
次回開催予定日	—		
問合せ先	<p>協働推進課 担当者名 長尾 電話 0561-32-8025 ファクシミリ 0561-76-5702 メール kyodo@city.aichi-miyoshi.lg.jp</p>		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事録全文 ・ 議事録要約 	要約した理由	—
審議経過	<p><内容></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 あいさつ 2 団体プレゼンテーション 3 審査 4 事業採択について 5 平成30年度みよし市がんばる地域応援補助金ふりかえりシート (平成28・29年度採択分の中間報告について) 		

<p>会議録 開会</p>	<p>深谷課長</p>	<p>本日は、お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。</p> <p>定刻となりましたので、只今から「平成30年度みよし市がんばる地域応援補助事業審査会」を始めます。よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本日の会議は、「みよし市がんばる地域応援補助事業審査会運営要綱」に基づき開催させていただきます。</p> <p>本日、「みよし市附属機関の設置及び運営に関する要綱」第6条に基づき、会議のプレゼンテーション部分を公開としておりますが、傍聴人数は0となりますので、ご承知おきください。</p> <p>最初に、加藤会長より、一言ごあいさつをいただきたいと思ます。</p>
<p>あいさつ</p>	<p>加藤会長</p>	<p>おはようございます。本日はしっかり審査していきたいと思ますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>議題</p>	<p>深谷課長</p> <p>水野副主幹</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第に従い進めてまいります。本日の選考方法とスケジュールを事務局から説明させていただきます。</p> <p>それでは、本日のスケジュールと選考方法について説明させていただきます。この後、10時10分からお手元に配布させていただきましたタイムスケジュールに沿いまして、各団体にプレゼンテーションを行っていただきます。プレゼンテーションの時間は、1団体10分となっております。</p> <p>プレゼン終了後、委員の皆様から団体に対してご質問等していただく時間を10分間予定しております。団体退場後、審査項目に沿って、委員の皆様には採点をお願いします。</p> <p>プレゼンにつきましては、各団体入れ替わりを含め25分を予定しております。2団体の終了時間は、11時を予定しております。</p> <p>その後、10分の休憩を挟みまして、この間に各委員の採点の集計をさせていただき、11時10分から採点結果を発表いたしますので、協議をお願いします。</p> <p>審査についてですが、地域課題の妥当性から公益性、主体性、実効性、将来性、実現性、地域性までの7項目ごとに、非常に優れている5点から劣るといふ1点までの点数をつけ、合計点数の高い順番に順位を決定していただきます。評価の中で著しく低い1点がありましたら、協議をお願いしたいと思ますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、今回副委員長の山田委員については、申込団体の代表および副代表であるため、審査には加わらないということでご承知おきください。</p> <p>プレゼンテーションの進行は、事務局で行わせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、プレゼンテーションに移りたいと思ます。</p>

<p>プレゼン テーション</p>		<p>【三好丘緑行政区 プレゼンテーション】 1名</p>
	<p>水野副主幹</p>	<p>ありがとうございました。事業内容に関しまして、ご質問等がございましたらお願いいたします。</p>
	<p>三島委員</p>	<p>がんばる地域応援補助金は地域の交付金ということで、地域への理解活動をどうされるのか。また、地域の方がこの事業にどのように関わられるのかを説明してください。</p>
	<p>三好丘緑 行政区</p>	<p>事業の流れとして、①セカンドハーベストへパートナー登録団体が必要な食品を要請するとセカンドハーベストが用意してくれる。②事業団体のメンバーか協力企業の運送担当者がセカンドハーベストへ取りに行き、搬送食品の仕分け・積み込みを行い、緑の集会所へ搬送する。③集会所で食品の荷降ろし・保管収納を区長および事務員が行う。④事務員が集会所のホームページで届いた食品について公開する。⑤パートナー登録団体が食品を受け取りにくる。⑥食品をパートナー登録団体へ引き渡す。というのが実際の行程です。この行程の②、③、⑥でお手伝いしたいという声が上がれば、活動していただきたいと考えています。</p> <p>活動の理解については活動内容をパネルにして、保管庫のところに掲示をしたり、集会所に来る子どもたちに説明したり、毎年新しく役員となる人たちが50名程いますので、その人たちに説明することで、数年後に数百名がこの事業を知ることができます。このように行政区の人たちに紹介し理解活動を行っていこうと考えています。</p> <p>また、社会福祉協議会へ活動内容をPRし、福祉団体へ紹介をしてもらおう。そして、団体へ食品を配るもしくは、取りに来てもらうことも考えています。</p>
	<p>三島委員</p>	<p>お手伝いしたいという声が出てくることに向けて、学習会活動をするなどの考えはありますか。</p>
	<p>三好丘緑 行政区</p>	<p>そこまではまだ考えていませんが、行っていければと考えています。</p>
	<p>佐宗委員</p>	<p>いきいきクラブや自主防犯活動の例会で、この事業をご紹介いただくのもいいかと思えます。</p> <p>また、行政区では、お祭りなどのイベントがメインですが、この事業は社会貢献ということで、初めての試みとなります。この事業の他に、社会貢献において何かアイデアがありましたら教えてください。</p>
	<p>三好丘緑 行政区</p>	<p>このあとに出てくるのですが、高嶺公民館カフェの活動を考えています。</p> <p>また、社会福祉活動事業部というものは、現在行政区にはありません。次の区長さんたちで社会福祉活動事業部の設立をし、行政区として永続的に活動のできる組織に変更していくのも1つの方法ではないかと思えます。</p>

<p>加藤会長</p> <p>三好丘緑 行政区</p>	<p>この事業で食品を配布することについて、優先度の高い課題であるということを地域住民の人たちにも理解してもらえていますか。そのあたりの温度感はどうですか。</p>
<p>加藤会長</p> <p>三好丘緑 行政区</p>	<p>世代によって違います。75歳以上の方は福祉事業や社会貢献事業に対して、非常に危機感を感じており、もっと積極的にやるべきだと思っています。</p> <p>ただ、現在70代以上の方が、約300名いるのに対し、50代前後の方が約350名と多いのですが、現在の行政区のメインである50代前後の方たちは、考え方も多様化しており、考えがまとまらず、昔からある意思が上手く引き継がれていないのが現状です。</p> <p>この事業に対しても、優先度の高い課題であると感じている方とそうでない方がいると考えられます。</p>
<p>加藤会長</p> <p>三好丘緑 行政区</p>	<p>社会貢献という良い事業であっても、地域住民の理解をしてもらえないと事業を続けていくことが厳しいのではないかと感じます。</p> <p>なぜ食品ロスなのか、なぜ地域の課題とつながるのか、ということは非常に悩みました。社会貢献活動というのは理解していただけます。そして、この活動が将来、社会福祉活動の支援をしていけるようになればと考えています。ただ、理解してもらえているかという、まだまだだと思えます。</p>
<p>加藤会長</p> <p>三好丘緑 行政区</p>	<p>この事業をとおして、何か活動資金を得るといったことはありますか。</p> <p>行政区には何も入りませんが、福祉活動をしている団体の経費削減にはなると考えます。その団体は、削減できた費用を別の事に使えらるると考えます。</p>
<p>加藤会長</p> <p>三好丘緑 行政区</p>	<p>利用団体には利益がありますが、地域にどんな利益があるのかというところを地域住民の方に理解を得ようと思うと、そこが一番説明の難しいところかと思えます。</p> <p>行政区の全員がボランティア活動をしているという意識になれるかどうかが一番の課題と考えます。</p>
<p>村田委員</p> <p>三好丘緑 行政区</p>	<p>社会福祉協議会と関係するとしていますが、食品ロスの支援をする先は、セカンドハーベスト名古屋が許可をしなければ支援できないということでもよろしいですか。</p> <p>また、今後みよし市内で活動している団体を見つけては、セカンドハーベストに登録してといったことを行っていきますか。</p>
<p>三好丘緑 行政区</p>	<p>はい。そうしていこうと考えています。</p>
<p>村田委員</p>	<p>行政区の総会でも提案し、賛同を得られてから事業を進めていくという条件と考えてよろしいですか。</p>

採点 プレゼン テーション	三好丘緑 行政区	はい。
	村田委員	自治会の活動でセカンドハーベストと事業を行っていくという ことは、初めてのことですか。
	三好丘緑 行政区	みよし市内の自治会では初めてですが、周辺市町では、豊明の区 長会がセカンドハーベストへ食品を寄付している例はあります。 みよし市内でセカンドハーベストへ食品を寄付または寄付して もらっているのは、うきぐも食堂とトルシーダの学びの森がありま す。
	水野副主幹	それでは、三好丘緑行政区のプレゼン及び質疑応答を終わらせて いただきます。 団体におかれましては退場をお願いします。ありがとうございました。
		【三好丘緑行政区 退場】
		【委員採点】
		【高嶺公民館カフェ プレゼンテーション】 3名
	水野副主幹	ありがとうございました。ただ今のプレゼンに対しまして、ご質 問等ございましたら、お願いいたします。
	三島委員	この事業を継続していく上で、次の担い手を育成していくことが 重要かと思いますが、活動の中でどのように育てていこうと考 えていますか。
	高嶺公民館 カフェ	本日同席していただいているナチュラルクッキングさんや他の ボランティア団体でご縁のある方などに、力を貸していただこう と考えています。 また、楽しく事業を行えるように、知恵を出し合い、どこにどう いった方がいるのか、地域内での情報収集を行い、これから考 えていこうと思います。
三島委員	初年度に、一度足を運んでくだされば楽しさが伝わると思 いますが、細かく呼びかけをするなどして、足を運んでいただけ るように進めていくということによろしいですか。	
高嶺公民館 カフェ	はい。緑行政区では、年末に防犯パトロールを行っており、そ ういった行事等で積極的に呼びかけをしていこうと考えていま す。	
佐宗委員	参加費が100円と記載されていますが、その運用はどのよう ですか。	

高嶺公民館 カフェ	<p>野菜は地域の方にお願ひし、時価の何割かで販売していただこうと考えていますが、現在のところ味噌汁とおにぎりを準備するには、そこまで費用はかからないと考えています。</p> <p>お弁当は300～350円程度で、その土地のもので作れると指導を受けています。いきなり参加費を350円とすると無理があると考え、初めの3年間は100円を参加費として人を集め、この補助金で差額を賄う形になります。4年目以降は250円程度の参加費で事業を進めていけるように勉強し、活動していきたいと考えています。</p>
加藤会長	<p>公民館が使いやすい場所であると言っておられましたか、外でパラソルを立ててカフェをやろうと考えたのはなぜですか。</p>
高嶺公民館 カフェ	<p>最初は三好丘にある遊歩道でフリーマーケットをやろうと思いましたが、いきなりフリーマーケットをやろうとすると、65歳以上の方は不安に思い、参加してもらえないと思いました。そこで、外に出て見えるところで何かをやりたいと考え、パラソルを立て、それを目印に人が集まるようなカフェをまずは公民館で始めようと考えました。</p>
加藤会長	<p>本日はナチュラルクッキングさんも来ていただいているので、お伺いします。ナチュラルクッキングさんの現在のスタッフの人数と年齢層を教えてください。</p>
高嶺公民館 カフェ	<p>人数は7名で、お味噌作りの時は一般からも参加者を募集しますので、20～30人になります。年齢的には、50～70代が多いです。</p>
加藤会長	<p>お味噌作りの時は若い方も参加されますか。</p>
高嶺公民館 カフェ	<p>現在は若い方の参加はありません。</p>
加藤会長	<p>どのくらいの頻度で活動されていますか。</p>
高嶺公民館 カフェ	<p>月に1回、ランチ会という形で作って食べてという活動をしています。</p>
山田委員	<p>その活動は高嶺公民館で行っていますか。</p>
高嶺公民館 カフェ	<p>そうです。</p>
山田委員	<p>ナチュラルクッキング、ひだまりのつどいとそれぞれの活動がある中、今回新たに高嶺公民館カフェを立ち上げようということよろしいですか。</p>
高嶺公民館 カフェ	<p>そうです。</p>

採点 集計 採決	山田委員	そうしますと、今まで行っていた2つの活動はどのようにしていかうと考えていますか。
	高嶺公民館 カフェ	高嶺公民館カフェと共に、2つの活動も継続していくつもりです。 また、高嶺公民館は年間約9千人の利用があります。お正月とお盆以外、ほぼ毎日利用されています。
	水野副主幹	それでは、質問もないようですので、高嶺公民館カフェのプレゼン及び質疑応答を終わります。ありがとうございました。
		【高嶺公民館カフェ 退場】
		【委員採点】
		【採点集計】
	深谷課長	それでは、ここからの取り回しは、「がんばる地域応援補助事業審査会運営要綱」第6条第1項の規定により会長にお願いしたいと思えます。
	加藤会長	総合判定の結果を見ますと、1位が高嶺公民館カフェ、2位が三好丘緑行政区となりました。 なお、審査項目において三好丘緑行政区の地域課題の項目に1点が付けられておりますので、決定前に協議をお願いいたします。 まず、1位の高嶺公民館カフェについて、1点はついていませんが、決定にあたり条件等がありましたらお願いします。
		【高嶺公民館カフェ 協議】
		【高嶺公民館カフェ 結果】 研修や他団体の活動見学等について、事業の課題を明確にし、どこで何を学ぶのかを整理し、計画的に実施すること。
加藤会長	次に、三好丘緑行政区については1点がついておりますので、協議していきたいと思えます。	
	【三好丘緑行政区 協議】	
	【三好丘緑行政区 結果】 区の総会での承認を得たこと、区民への理解を高めるための学習会や説明会等の実施及び事業の担い手の確保策について、具体的に分かる書面を市に提出し、市と協議した上で交付申請をすること。	
加藤会長	以上の結果を踏まえ、三好丘緑行政区及び高嶺公民館カフェ共に採択とし、審査会を終了いたします。 次に、平成28・29年度に採択しました5団体の平成30年度みよし市がんばる地域応援補助金ふりかえりシートについて事務局より報告をお願いします。	

<p>報告 閉会</p>	<p>深谷課長 岡本次長 深谷課長</p>	<p>【ふりかえりシートの報告】</p> <p>本日は、誠にありがとうございました。 最後に、市民協働部次長よりひとこと、お礼申し上げます。</p> <p>本日は、慎重審議ありがとうございました。 今回審査いただいた結果を各団体へ通知し、採択された団体には、事業実施に向けた準備をしていただきます。 また、平成28・29年度に採択いたしました5団体については、今後の活動に期待をし、今年度採択いたしました事業と共に、支援をしていきたいと思っております。 なお、委員の皆様におかれましては、平成31年3月31日をもって、みよし市ががんばる地域応援補助事業審査会の委員の任期満了となりますが、引き続き委員をお願いしたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。 本日は、ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、平成30年度みよし市ががんばる地域応援補助事業審査会を終了いたします。 ありがとうございました。 (散会)</p>
------------------	---	--